

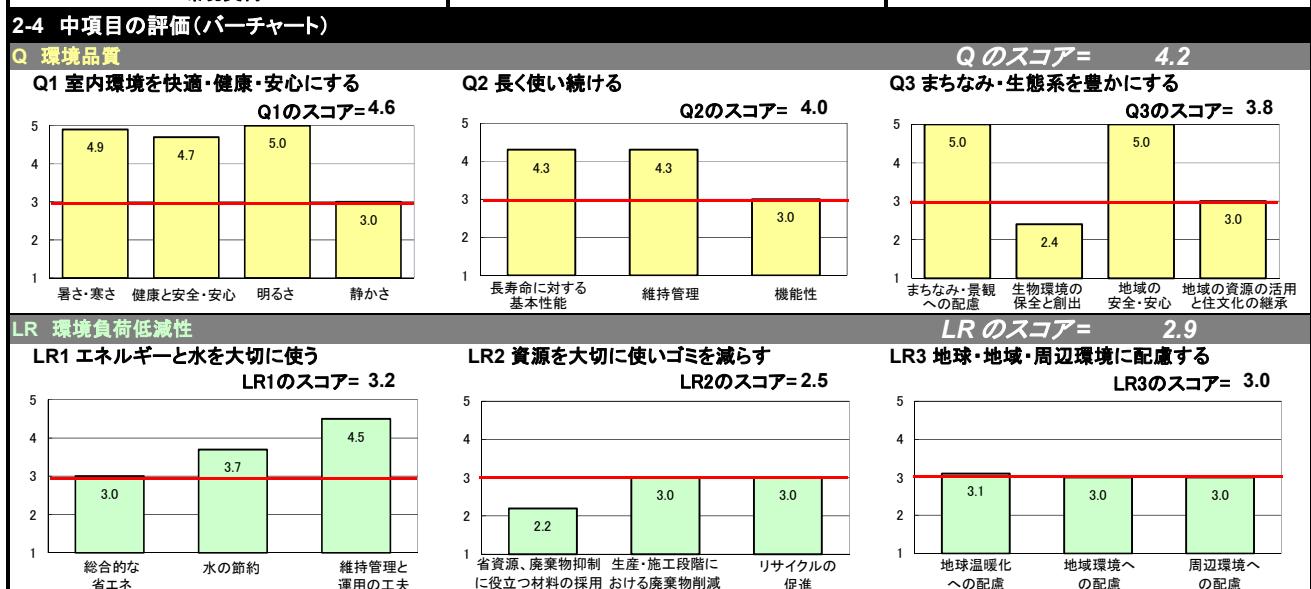
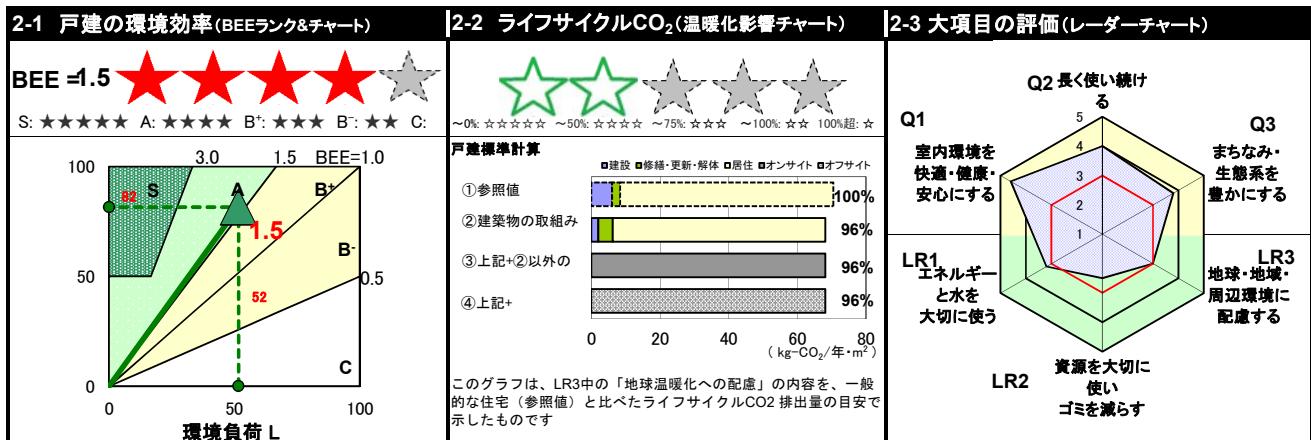
CASBEE® 横浜[戸建] 評価結果 | 2-050

■使用評価マニュアルCASBEE-戸建(新築)2016年版

■バージョンCASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4



1-1 建物概要		1-2 外観		
建物名称	個人住宅	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2020年12月	持ち込み家電等	一部確定	竣工
建設地	横浜市港北区大倉山三丁目	外構の仕様	確定	
用途地域	第一種中高層住居専用地域	<備考>		
省エネルギー地域区分	6 地域			
構造・構法	木造	評価の実施日	2020年11月9日	
階数	地上2F	作成者	宮本 幸治	
敷地面積	131 m ²	確認日	2020年11月9日	
建築面積	62 m ²	確認者	宮本 幸治	
延床面積	108 m ²			
世帯人数	4			



3 設計上の配慮事項		
総合 耐震性・断熱性・耐久性など優れた基本性能を日本の風土や気候にあわせて研究を重ね、40年間に渡り培ってきた技術であるプレミアム・モノコック構法を採用。		その他
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 全館空調を導入することによって、真夏や真冬でも外気温の影響をほとんど受けず、24時間家中どこでも快適な温度に保つことを実現。		Q2 長く使い続ける 建物お引渡し後、10年ごとの点検とメンテナンス工事を組み合わせ、長期にわたる品質・性能の維持をサポート。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 太陽光発電を導入し、水回りには節水機能のある水栓を使用。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 特に無し	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 道路面には植栽を配置し、設備機器は住宅側面に配置するなど街並み・景観への配慮を行っている。
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する LCCO ₂ の排出を一般的な住宅と同程度に抑え、地形の変更を行わないなど、環境に配慮している。		



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 個人住宅

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 1

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

③住まい手に、太陽光発電や自然通風の取入れについて説明を実施。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】

5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4を超える (相当)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

⑤全館空調を導入することによって、24時間家中どこでも快適な温度を保つことを実現。

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点) 【防災】

5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

⑦太陽光発電を設置、住まい手に自立生活の方法について説明している

⑧劣化対策等級3を満たす

⑨隣地との間にフェンスを設置しない等の配慮。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】

4

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

⑩道路面には樹木を配置し、設備機器は住宅側面に配置

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)



太陽光利用

エネルギー・マネジメントシステム導入

HEMS

—

CASBEE® 横浜[戸建] | 評価結果 | 2-050



CASBEE横浜[戸建] (2017年版)
個人住宅

バージョン : CASBEE横浜[戸建]2017年版v.1.4

スコアシート	重点項目	評価点	重み係数	全体
配慮項目				
Q _H すまいの環境品質		-	-	4.2
Q _{H1} 室内環境を快適・健康・安心にする		-	0.45	4.6
1 暑さ・寒さ		4.9	0.50	4.9
1.1 基本性能		4.8	0.50	-
1.1.1 断熱等性能の確保	健康・安心 (4)暑さ・寒さ	5.0	0.80	-
1.1.2 日射の調整機能	健康・安心 (4)暑さ・寒さ	4.0	0.20	-
1.2 夏の暑さを防ぐ		5.0	0.25	-
1.2.1 風を取り込み、熱気を逃がす		5.0	0.50	-
1.2.2 適切な冷房計画		5.0	0.50	-
1.3 冬の寒さを防ぐ		5.0	0.25	-
1.3.1 適切な暖房計画		5.0	1.00	-
2 健康と安全・安心		4.7	0.30	4.7
2.1 化学汚染物質の対策	健康・安心 (5)健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.2 適切な換気計画	健康・安心 (5)健康と安全・安心	5.0	0.25	-
2.3 犯罪に備える	健康・安心 (5)健康と安全・安心	4.0	0.25	-
2.4 災害に備える	防 災 (7)災害に備える	5.0	0.25	-
3 明るさ		5.0	0.10	5.0
3.1 屋光の利用		5.0	1.00	-
4 静かさ		3.0	0.10	3.0
Q _{H2} 長く使い続ける		-	0.30	4.0
1 長寿命に対する基本性能		4.3	0.50	4.3
1.1 車体	防 災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.2 外壁材		3.0	0.10	-
1.3 屋根材、陸屋根		3.0	0.10	-
1.4 自然災害に耐える	防 災 (8)長寿命に対する基本性能	5.0	0.30	-
1.5 火災に備える		3.7	0.20	-
1.5.1 火災に耐える構造		3.0	0.65	-
1.5.2 火災の早期感知		5.0	0.35	-
2 維持管理		4.3	0.25	4.3
2.1 維持管理のしやすさ		4.0	0.65	-
2.2 維持管理の計画・体制		5.0	0.35	-
3 機能性		3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り		4.0	0.50	-
3.2 バリアフリー対応		2.0	0.50	-
Q _{H3} まちなみ・生態系を豊かにする		-	0.25	3.8
1 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり (10)まちなみ・景観への配慮	5.0	0.30	5.0
2 生物環境の創出		2.4	0.30	2.4
2.1 敷地内の緑化	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	1.0	0.65	-
2.2 生物の生息環境の確保	地域・まちづくり (11)生物環境の創出	5.0	0.35	-
3 地域の安全・安心	防 災 (9)地域の安全・安心	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		3.0	0.20	3.0
LR _H すまいの環境負荷低減性		-	-	2.9
LR _{H1} エネルギーと水を大切に使う		-	0.35	3.2
1 総合的な省エネ		3.0	0.75	3.0
1.1 車体と設備による省エネ	省エネルギー性能 (1)建物の工夫	3.0	0.90	-
1.2 家電・厨房機器による省エネ	省エネルギー性能 (2)設備の性能	3.0	0.10	-
2 水の節約		3.7	0.15	3.7
2.1 節水型設備		4.0	0.75	-
2.2 雨水の利用		3.0	0.25	-
3 維持管理と運用の工夫		4.5	0.10	4.5
3.1 住まい方の提示	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	5.0	0.50	-
3.2 エネルギーの管理と制御	省エネルギー性能 (3)維持管理と運用	4.0	0.50	-
LR _{H2} 資源を大切に使いゴミを減らす		-	0.35	2.5
1 省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用		2.2	0.60	2.2
1.1 構造躯体		3.0	0.30	-
1.1.1 木質系住宅		3.0	1.00	-
1.1.2 鉄骨系住宅		3.0	-	-
1.1.3 コンクリート系住宅		3.0	-	-
1.2 地盤補強材・地業・基礎		3.0	0.20	-
1.3 外装材		1.0	0.20	-
1.4 内装材		1.0	0.20	-
1.5 外構材		3.0	0.10	-
2 生産・施工段階における廃棄物削減		3.0	0.30	3.0
2.1 生産段階(構造躯体用部材)		3.0	0.33	-
2.2 生産段階(構造躯体用以外の部材)		3.0	0.33	-
2.3 施工段階		3.0	0.33	-
3 リサイクルの促進		3.0	0.10	3.0
3.1 使用材料の情報提供		3.0	1.00	-
LR _{H3} 地球・地域・周辺環境に配慮する		-	0.30	3.0
1 地球温暖化への配慮		3.1	0.33	3.1
2 地域環境への配慮		3.0	0.33	3.0
2.1 地域インフラの負荷抑制		3.0	0.50	-
2.2 既存の自然環境の保全		3.0	0.50	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	3.0
3.1 騒音・振動・排気・排熱の低減		3.0	0.50	-
3.2 周辺温熱環境の改善		3.0	0.50	-